

食品産業動向調査結果

- 1 食品産業の景況
- 2 食品産業の原料原産地表示の取り扱い
- 3 食品産業の労働力

調査要領

調査時点 平成29年7月1日

調査方法 郵送により調査票を配付し、郵送により回収

調査対象企業

公庫取引先を含む全国の食品関係企業 7,027社

有効回収数 2,571社 (回収率: 36.6%)

〈内訳〉	食品製造業	1,695社
	食品卸売業	616社
	食品小売業	215社
	飲食業	45社

※景況判断のため、アンケート結果からDI値を算出。DI(Diffusion Index = 動向指数)とは、「増加する(良くなる)」と回答した企業の割合から「減少する(悪くなる)」と回答した企業の割合を差し引いた数値。

詳しい調査結果を当公庫ホームページ (<https://www.jfc.go.jp/>)に掲載しています。
トップページから「刊行物・調査結果」→「農林水産事業」→「食品産業動向調査」の順をご覧ください。

<調査に関するお問い合わせ>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部 TEL 03-3270-5585

注: 図表において、四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

平成29年9月



日本政策金融公庫

農林水産事業

1 食品産業の景況

景況DI (景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを単純平均して算出)

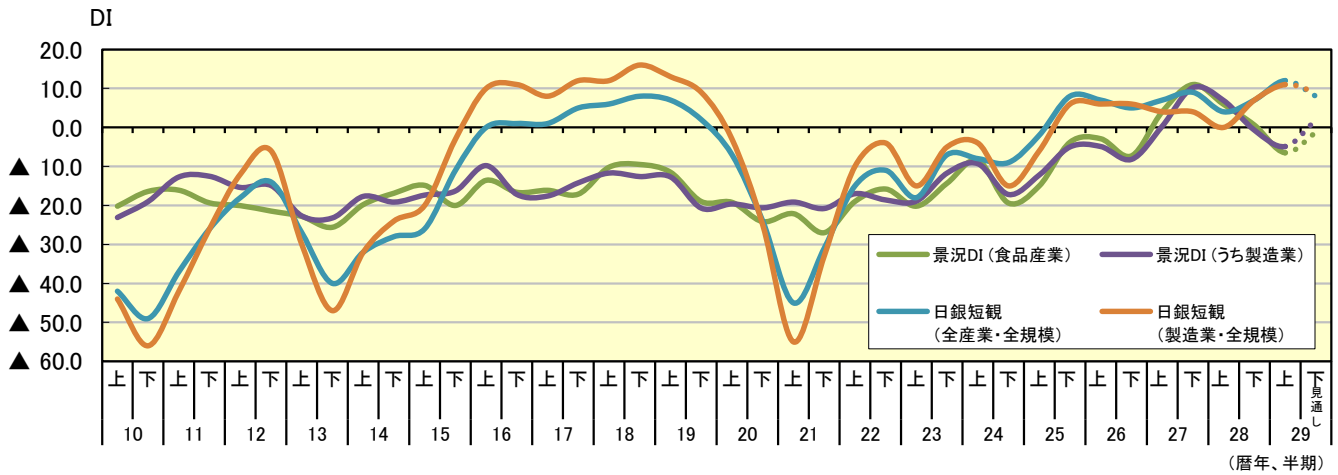
DI値は悪化しマイナス値となったが、下半期は改善の見通し

【実績】

○ 平成29年上半期の景況DIは、前回調査時の28年下半期から7.1ポイント低下し▲6.5となった。

【見通し】

○ 先行き29年下半期の景況DIは、5.2ポイント上昇するも▲1.3とマイナス値に留まる見通し。



半期	25年上半期	25年下半期	26年上半期	26年下半期	27年上半期	27年下半期	28年上半期	28年下半期	29年上半期	29年下半期見通し
景況DI(食品産業)	▲15.0	▲3.8	▲2.9	▲7.3	4.0	11.0	5.9	0.6	▲6.5(-7.1)	▲1.3(+5.2)
景況DI(うち製造業)	▲12.2	▲5.0	▲4.9	▲8.2	0.3	10.2	6.9	▲0.7	▲4.9(-4.2)	1.9(+6.8)

()は前回との差

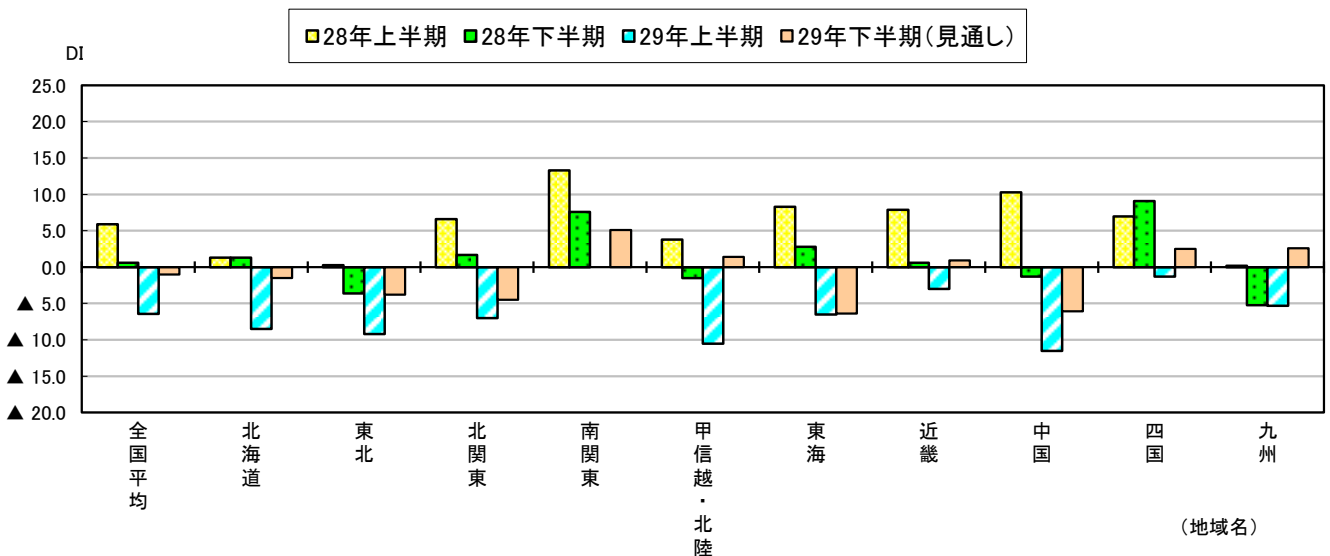
地域別景況DI

【実績】

○ 29年上半期の地域別景況DIは、10地域すべてが前回調査から0.1~10.4ポイント幅で低下となった。

【見通し】

○ 先行き29年下半期の地域別景況DIは、10地域すべてが0.1~11.9ポイント幅で上昇する見通し。



(注) 地域の区分

北海道……北海道
 東北……青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 北関東……茨城県、栃木県、群馬県
 南関東……埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 甲信越・北陸……新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海……岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿……滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国……鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国……徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州……福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県(沖縄県除く)

業種別景況D I

【製造業】

- 29年上半期の景況D Iは、4.2ポイント低下し▲4.9となった。
- 29年下半期の景況D Iは、6.8ポイント上昇し1.9となる見通し。

【卸売業】

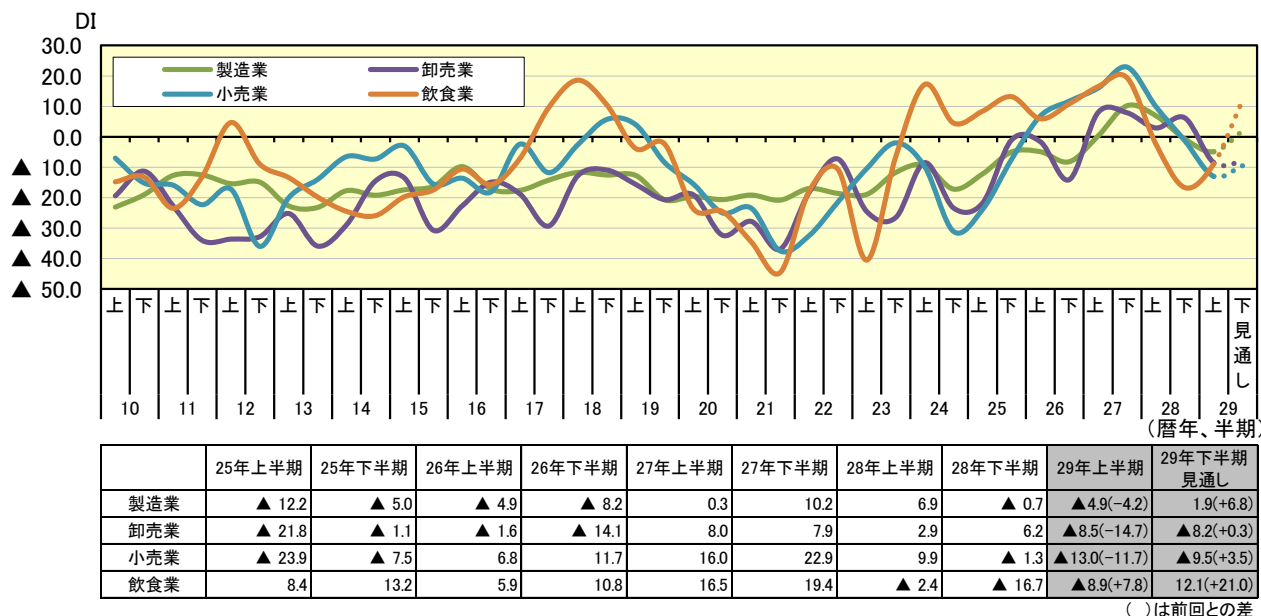
- 29年上半期の景況D Iは、14.7ポイント低下し▲8.5となった。
- 29年下半期の景況D Iは、0.3ポイント上昇し▲8.2となる見通し。

【小売業】

- 29年上半期の景況D Iは、11.7ポイント低下し▲13.0となった。
- 29年下半期の景況D Iは、3.5ポイント上昇し▲9.5となる見通し。

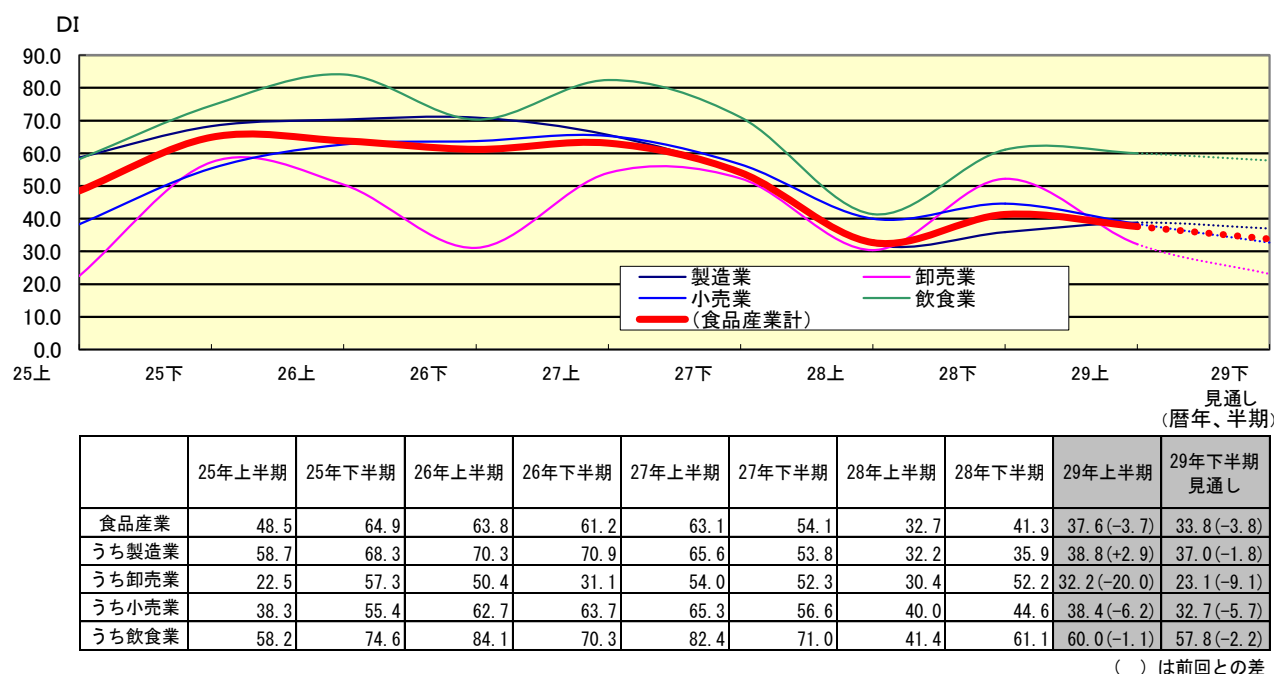
【飲食業】

- 29年上半期の景況D Iは、7.8ポイント上昇し▲8.9となった。
- 29年下半期の景況D Iは、21.0ポイント上昇し12.1となる見通し。



仕入価格D I (「上昇」の割合から「低下」の割合を引いた値)

- 29年上半期の仕入価格D Iは、3.7ポイント低下し37.6と価格上昇は落ち着く傾向。
- 29年下半期の仕入価格D Iは、3.8ポイント低下し33.8と価格上昇は落ち着く見通し。



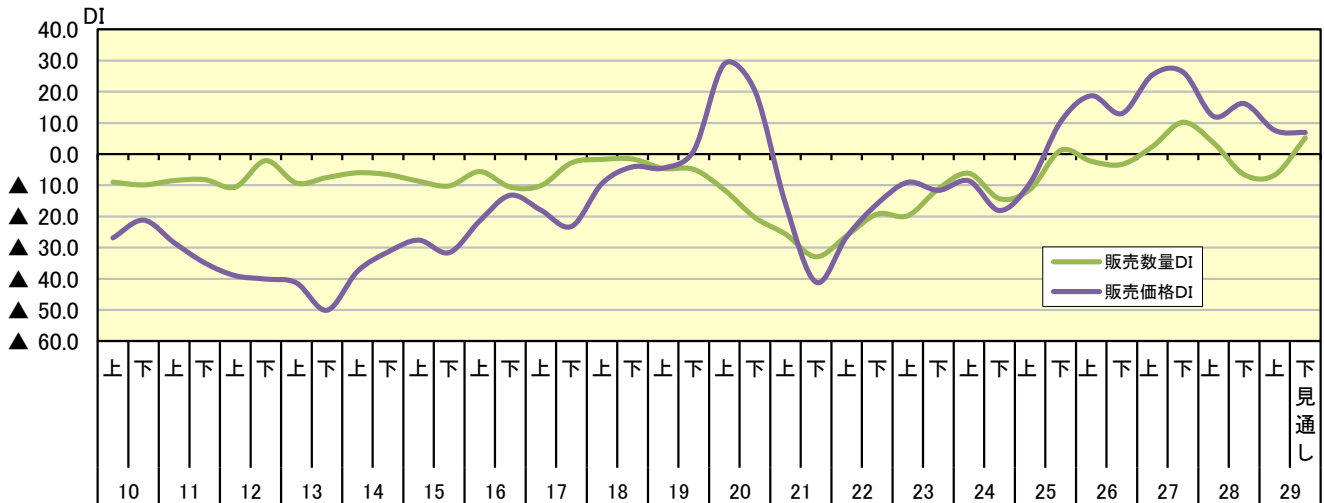
販売数量DIと販売価格DI（「上昇（増加）」の割合から「低下（減少）」の割合を引いた値）

【販売数量】

- 29年上半期の販売数量DIは、0.1ポイント低下し▲6.7と数量減少となった。
- 29年下半期の販売数量DIは、11.9ポイント上昇し5.2と数量増加の見通し。

【販売価格】

- 29年上半期の販売価格DIは、8.6ポイント低下し7.6と価格上昇は落ち着く傾向。
- 29年下半期の販売価格DIは、0.7ポイント低下し6.9と価格上昇は落ち着く見通し。

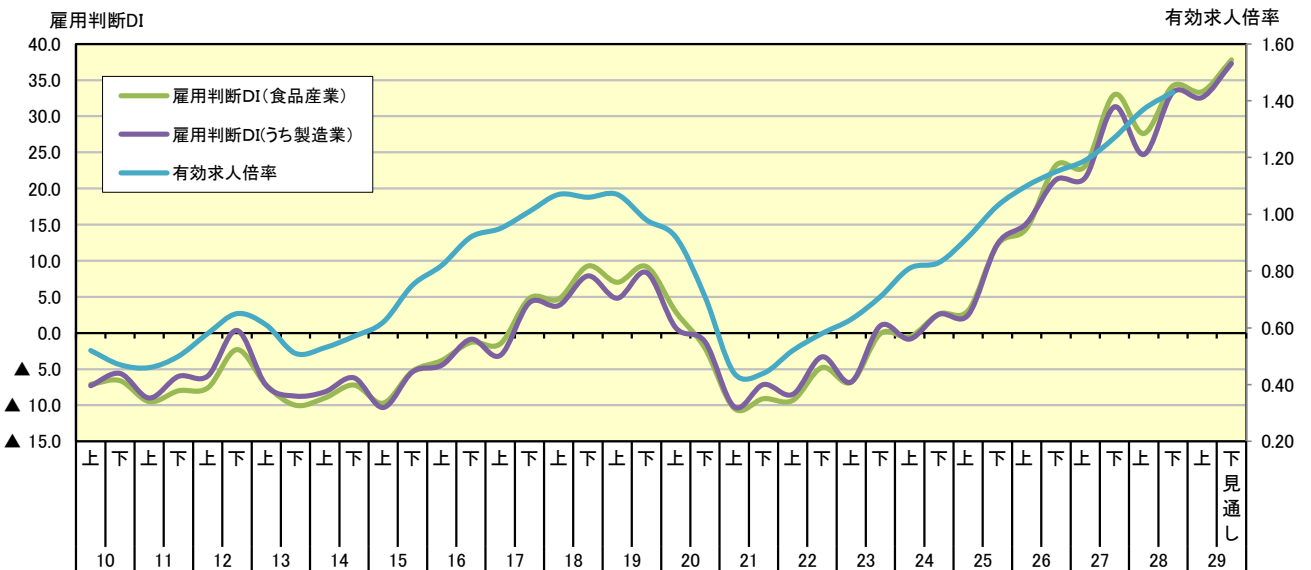


	24年下半期	25年上半期	25年下半期	26年上半期	26年下半期	27年上半期	27年下半期	28年上半期	28年下半期	29年上半期	29年下半期 見通し
販売数量DI	▲ 14.3	▲ 11.3	1.2	▲ 2.3	▲ 3.3	2.4	10.2	3.6	▲ 6.6	▲ 6.7(-0.1)	5.2(+11.9)
販売価格DI	▲ 18.1	▲ 9.2	10.4	18.7	13.0	25.4	26.3	12.1	16.2	7.6(-8.6)	6.9(-0.7)

()は前回との差

雇用判断DI（「不足」の割合から「過剰」の割合を引いた値）

- 29年上半期の雇用判断DIは、0.8ポイント低下し33.4と不足感が高止まっている。
- 29年下半期の雇用判断DIは、4.4ポイント上昇し37.8と不足感の高止まりが続く見通し。



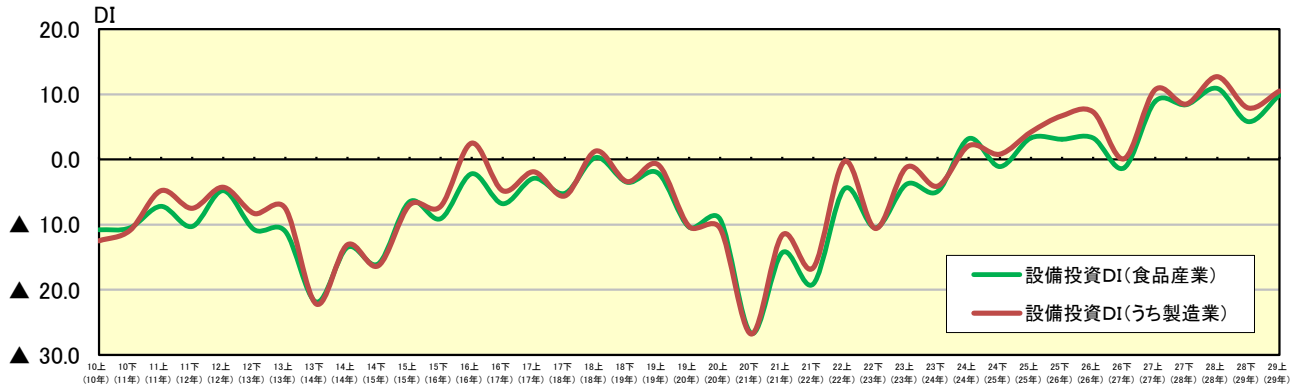
()は前年、半期)

	24年下半期	25年上半期	25年下半期	26年上半期	26年下半期	27年上半期	27年下半期	28年上半期	28年下半期	29年上半期	29年下半期 見通し
食品産業	2.6	3.1	12.2	14.5	23.2	23.1	33.0	27.6	34.2	33.4(-0.8)	37.8(+4.4)
うち製造業	2.6	2.5	12.3	15.2	21.2	21.5	31.3	24.7	33.3	32.6(-0.7)	37.3(+4.7)

()は前回との差

設備投資DI (「増加」の割合から「減少」の割合を引いた値)

- 設備投資DI (平成29年上半期時点での平成29年通年の見通し)は、前回調査 (28年下半期) より4.1ポイント上昇し9.9とプラス値を維持している。



上段は調査時期、()内は見通し年

(注) 年途中に行う上半期調査に比べ、年初に行う下半期調査の方が設備投資に対して弱含みの数値となりやすい。

調査時期 (見通し年)	24年下半期 (25年)	25年上半期 (25年)	25年下半期 (26年)	26年上半期 (26年)	26年下半期 (27年)	27年上半期 (27年)	27年下半期 (28年)	28年上半期 (28年)	28年下半期 (28年)	29年上半期 (29年)
食品産業	▲ 1.1	3.3	3.1	3.3	▲ 1.3	8.9	8.4	10.9	5.8	9.9(+4.1)
うち製造業	0.8	4.2	6.7	7.3	0.1	10.7	8.5	12.7	7.9	10.5(+2.6)

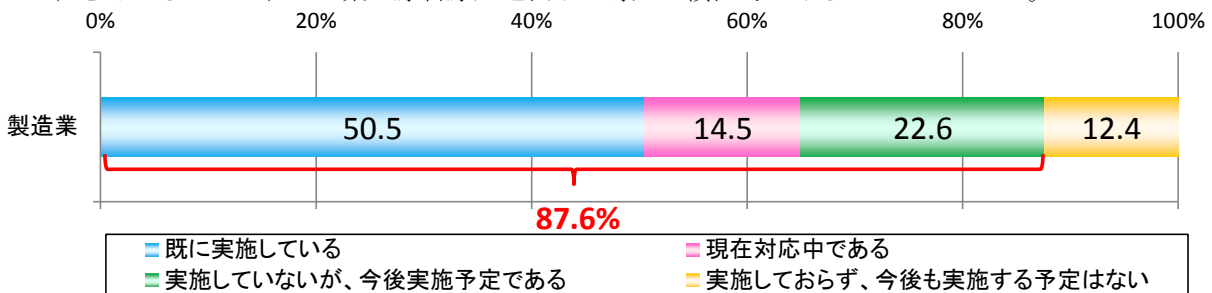
()は前回との差

2 食品産業の原料原産地表示の取り扱い

食品製造業の9割近くが原料原産地表示に対応済または対応中

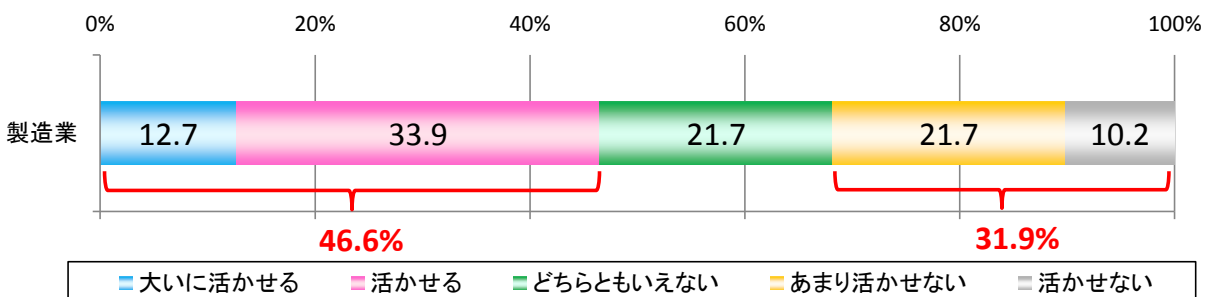
原料原産地表示の実施状況

- 食品製造業者の方に、原料原産地表示の実施状況について聞いたところ、50.5%の企業が「既の実施している」と回答した。これに「現在対応中である」14.5%、「実施していないが、今後実施予定である」22.6%を加えると87.6%の企業が原料原産地表示の導入に積極的であることがわかった。



原料原産地表示は営業・販売戦略に活かせるか

- 原料原産地表示は自社の営業・販売戦略に活かせるか聞いたところ、「大いに活かせる」または「活かせる」と回答した企業が46.6%、「活かさない」または「あまり活かさない」と回答した企業が31.9%で、食品製造業者のうち原料原産地表示を営業・販売戦略に活かせると思う企業が多いことがわかった。

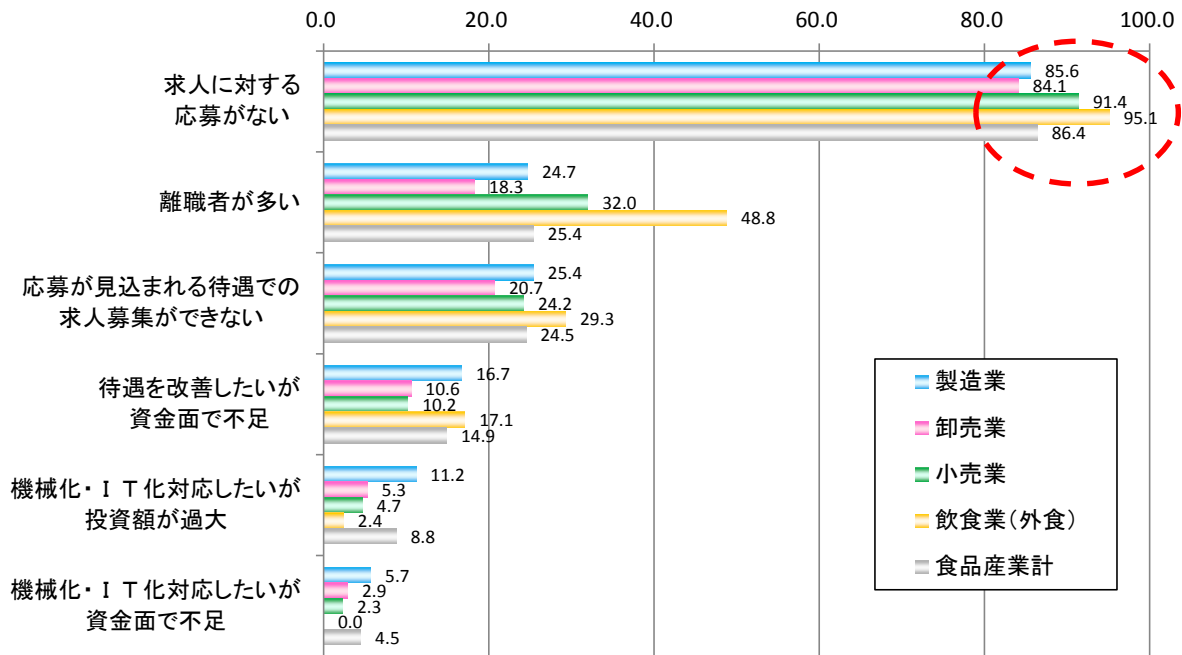


3 食品産業の労働力

食品企業の9割近くが求人に対する応募なし、業種で解決策に違い

労働力不足の原因

- 景況調査の雇用状況で雇用実績または雇用見通しについて不足と回答した食品関係企業を対象に、労働力不足の原因について聞いたところ、「求人に対する応募がない」と回答した企業は86.4%と圧倒的に多い結果となった。



労働力不足の解決策として効果が期待できるもの

- 労働力不足の解決策として効果が期待できるものを聞いたところ、「労働条件の改善」が69.7%と最も多く、次いで「作業工程の機械化」42.2%、「外国人技能実習生の受け入れ」30.9%となった。
- 業種別にみると、製造業では「作業工程の機械化」54.0%が多くなっている一方で、小売業と飲食業(外食)では「福利厚生の実施」が多くなっており、業種によって効果的な解決策が異なることがわかった。

